

みなさんこんにちは！早いもので2月に入ってしまいましたが、最初の「住まいる通信」ですので、少々遅くなりましたが皆様、本年もどうぞよろしくお祈りします。

上の写真は初詣に行った皆様ご存知廿日市の速谷神社です。私事ですが、昨年三男に女児が生まれ、私としては5番目にして初の女の子の孫が誕生しました。その三男一家が正月に帰省で帰ってきましたので、折角だからと人ごみ覚悟で1月2日に宮島に初詣に行きましたが、高齢の母には無理なので、後日車からお参りのし易い速谷さんに行った次第です。大晦日には姉が嫁いだお寺でいろいろ願いながら孫たちと除夜の鐘を突き、そして宮島に速谷神社とお参りして、あれもこれも沢山お願いしたので、今年はきっと良い年になるに違いありません。(笑)

さて今年は弊社においても大きな節目となる、創業50周年を迎える年となります。50年前の1970年は大阪万博が行われた年で、この年の7月に父と叔父の二人でこの株式会社ゲイナンハウスの前身である有限会社芸南ハウス設備を故郷大竹で創業いたしました。それまでは父が三菱レイヨン豊橋工場に勤務していたため、私たち家族は豊橋の工場に隣接した社宅に住んでおり、大竹に引っ越す途中に大阪万博に寄って小さな“月の石”を見たことや、地元中学校に転校してみれば何と男子は“坊主頭”、豊橋の中学校が長髪でしたので登校した初日、長髪の私は見世物のように見られ、即日今でもお世話になっている散髪屋さんで坊主頭にしてもらったことを思い出します。あれから50年、大きな不渡りを受けて倒産の危機に瀕したことや、小瀬川の手作りボート川下り競争に出たことなど、苦しかったことや楽しかったことなどたくさん思い出が蘇ります。

そして、今年は2020年東京オリンピックが開催される年です。数々の競技で様々なドラマが繰り広げられることに、今からワクワクします！弊社においても、50周年の記念となる行事を行いたいと考えております。オリンピック同様“ワクワク”するような記念事業ができればと思っておりますので、今年のゲイナンハウスにご期待下さい。

最後になりますが、本年も社員一同しっかりと皆様に喜んでいただけるよう頑張りますので、ご支援ご愛顧の程よろしくお祈り申し上げます。(啓)



河野



<近況報告：令和2年年頭の抱負>

毎年恒例、仕事始めの日に新年の抱負を話してもらいました。順不同で紹介！

(本社)

里：今年は6回目の年男！感謝しながら、恩返しのできる気持ちで仕事をしたいと思います。

西村：仕事の面では、特に小規模な仕事を丁寧に対応させていただきたい。

個人面では、3月の錦帯橋マラソンで10Kmに挑戦し、他にも2回は挑戦したいので、健康管理に気を付けます。

中谷：色々な仕事に自らチャレンジして、仕事の幅を広げたい。

西村さんと同じく錦帯橋マラソンに参加するので、西村さんだけでは負けません。

河野(大)：今年は社外の活動が増えるので、“地域に根差す”を念頭に置いて活動したい。

個人的には、長男が3月一杯でサッカーを終えるので、試合など出来るだけ見て子供に関わりたい。

河野(育)：仕事では、若い人の後方支援を。個人的には、年を忘れてチャレンジの方向で。

全体的には、自分の中から出る声を大切に聞く。

向井：長男が4月から社会人、長女も高校生となる節目の年となるので、断捨離を断行したい。

仕事の面では内容をしっかりと考えて処理できるように頑張ります！

河野(清)：昨年は子供のサッカーや、小学校の役員などでとても忙しかったので、のんびりと子供たちと過ごしたいです。

今年は東京に近づけそうにないので、USJに行きたいです。

(廿日市店)

宮本：仕事の面では、意見の違う他人の話をキチンと聞き入れるようになりたい。

個人的には毎週末野球の世話をしていた子供が卒業するので、週末ボーっとしないよう趣味を作りたい！

太田：三月末で14年間お世話になったゲイナンハウスを父と農業をするため退社するので、自分の仕事の後をきれいにしておきたい。今年は3回目の年男、これまで以上に人との縁を大事にしたい。

竹内：例年通り、今年も肅々と淡々と大過なく送りたい。

山中：昨年は、私の身の回りの方が、若くても病気になることが多かったので、

自分も、健康に留意して、運動や食べ物に気をつけていきたいと思います。(ダイエットも兼ねて。)

河野(啓)：冒頭にも書きましたが、今年は弊社創業50周年を迎える年となる節目の年です。

先人からのこれまでの50年を大事にしつつ、これからの50年に思いを馳せ“驕らず、怯まず、捉われず”です。

皆の抱負いかがだったでしょうか？特に太田君については今年の3月末をもって退社します。実は退社の話聞いたのは3年前ですが、会社も太田君の退社後の準備があるので待ってもらいました。退社の理由が、“実家のお父さんが元気な間に一緒に農業をしたい”とのことでしたので、私としても強く引き留めることはできませんでした。入社以来14年住まいが広島市内でしたので廿日市店の勤務が長く、廿日市のたくさんのお客様に可愛がっていただき本当にありがとうございました。本人共々厚く御礼申し上げます次第です。

さて、最高齢の里さん、もはや定年はありませんので体が動く間は無理せず一日でも長く、地域の“住まいの困った”への対応をよろしくお祈りします。西村君と中谷君は10Kmマラソンに挑戦！昨年平和マラソンに参加して、走ることに火が付いたようです、ぜひ頑張ってください！子育て中の皆さんは、それぞれ子供の成長で少しずつ変化があるようです。子供と関わる期間は長いようであっという間ですので、しっかりと子供と関わってもらいたいものです。ご笑覧ありがとうございました。(啓)

「住いの困った」は ゲイナンハウス 大竹店・廿日市店共に
フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>
最後までお読みいただき有難うございました、次回は4月頃の予定です。(啓)
*尚、この「住まいる通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。

廿日市店改装完了！



2階事務所



1階浴室コーナー

前回の通信でご紹介しましたように、昨年行ってました廿日市店の改装が完了しました。左の写真のように事務所を2階に移転し、これまでよりもゆったりとした事務所となりました。大きな戸棚の中に資料など収められていて、慣れてない私は一つずつ開けて見なければどこに何があるのかわからない状態が続いております。内装は元々の板張りの壁などをそのままにして、戸棚の扉も木製の扉を採用して、ウッディな落ち着いた事務所となっています。きっと、仕事はかどるにちがいませんね！これでスタッフが増えても大丈夫！ですので、売り上げ倍増期待してます。(笑)

さて、1階のショールームも併せて改装し、入口に面した角に浴室・洗面所コーナーを作り、1坪のユニットバスと洗面台を展示しております。実際に入って(入浴はできませんが)みていただけますので、お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。

今回の改装で、これまでの1階事務所スペースが倉庫スペースとなり、普段の施工で使う木材や管材類が在庫として置かれています。また、現場で設置する給湯器なども施工の工程に併せて事前に入荷しておくことができるので、入荷待ちなどの工程のロスも無くなり、これまで以上に工程がスムーズに行えると期待しております。

イベント報告

<11月30日廿日市店感謝祭>

早いもので、廿日市店が現在の宮園に移転をして14年目となります。お蔭様で宮園地区の4軒に1軒がお客様となっていて、毎年この時期に感謝祭を廿日市店で行っており、宮園そば打ち同好会の皆様にご協力いただいております。今年も、朝の10時から暖かいそばを100食、打ちたてを作っていました。同好会の皆さんのそばが美味しいことをご存知の方々にたくさんお越しいただき、12時には完売！私の口に入るか心配でしたが、何とか美味しくいただくことができました。11時からのフルーツの詰め放題に待っている間は、同好会のS様の見事なそば打ちに皆さん見入っておられ、打ち手のS様もギャラリーに囲まれて、解説も交えてのそば打ちの実演の様相でした。その後のフルーツの詰め放題では、ワイワイと賑やかで、私まで楽しかった次第です。これからも、永らく地域の皆様に愛される廿日市店となるよう、このようなイベントを継続したいと思っておりますので、お気軽にご参加よろしくお願ひします。



ギャラリーに囲まれて、解説しながらのそば打ちの実演！



開始の10時には、たくさんの方がそばを待ってます！



大好評のフルーツの詰め放題、西村君の采配で見事完売！

最近の施工事例から
おばあちゃんの家を引き継いで
趣味のバイクを思う存分いじりたい！

今回の施工事例は、祖母が亡くなられた空き家を、お孫さんが終の棲家として築50年の住宅の大規模改修をさせていただいたものです。築50年と言うことで、耐震診断に基づいた耐震補強並びに、劣化した基礎の補強に重点を置いて改修しています。さらに、お孫さんの趣味がバイクいじりとして、そのためのガレージが欲しいと言うことで、1階の洋間をバイクいじりが好きな時にできるガレージにリフォームしています。自分の家にバイクいじりができる広いガレージを持つなんて夢のような事ですが、おばあちゃんから広い家を引き継いだからこそできたことではないでしょうか。

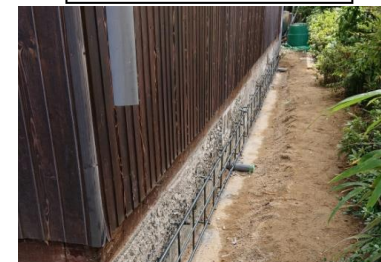
きれいな新築住宅を建てることはとても素敵な事ですが、限られた予算の中で、自分の趣味の空間を持つことはなかなか出来ることではありません。しかしながら、古い家を引き継ぐことで、自分らしい暮らしのできる住まいを持つと言う選択も素晴らしい事ではないでしょうか。

基礎及び土間補強



基礎補強(着工前)

50年前の基礎は鉄筋が入っておらず、しかも砕石の割合が多く、ハンマーで叩けば欠けるほど柔らかい状態です。



基礎補強(施工状況)

既存の基礎の外側に新たな布基礎を抱かせ補強を行うための鉄筋を配筋したところです。



基礎補強(完工)

補強の布基礎の上に板金を掛けて、雨水の侵入を防いでいます。



土間補強(施工状況)

砕石を敷いた上に防湿シート・断熱材を敷き、その上に鉄筋を配筋しています。鉄筋を既存の布基礎にアンカーで固定することで土間コンクリートと一体化させます。



土間補強(完工)

この土間補強を行うことで、布基礎と一体化させ基礎の強度をUPします。



趣味の部屋完成

上記のような基礎・土間だけでなく金物や耐震壁の耐震補強を行い、リフォーム工事を行いました。

左の写真の趣味の部屋は、元は洋間で応接間として使われていました。掃出しサッシの部分の基礎を撤去しシャッターを取り付けて、バイクがそのまま入れるようにしています。もちろん今回の工事では趣味の部屋だけでなく、水廻りもリフォームしておりますが紙面の関係で耐震と趣味の部屋をご紹介させていただきました。

お客様も、これでいつでも好きな時間にバイクいじりができると喜んでいただいています。

